

会員刊行書紹介

天領横灘ものがたり

別府の江戸時代

入 江 秀 利



若いときから横灘（別府）地方に関する古記録や古文書を探して、解読しながら地方の歴史を記録してきた。

この本の内容は以下のようである。

別府の近世が太閤蔵入地に始まり幕府の天領（御料）になるまでの経緯、天領になってから島原藩や熊本藩の御預所になり明治維新を迎えるまでの支配の移り変わり。豊前道を中心にした陸路と海路の交通。

別府に特有な地獄や温泉・温泉宿について江戸時代の古記録や古文書から当時の様子を再現。特に幕府の専売品になっ

た豊後明礬の生産や販売、また鍋山硫黄の生産。

享保年間、中石垣村が幕府の奨励する薩摩芋の栽培をいち早く始めたこと。扇状地の耕地では白米より赤米の生産が多かった農業。沿岸漁業の盛んな漁師が中国向けの煎海鼠の生産を命じられたこと。

加藤清正・黒田如水と杵築城主松井佐渡守康之の書簡をもとに石垣原合戦の史実を解明。古文書や古記録から赤松の農民対府内藩の銭瓶石騒動や村々の秣場入会権をめぐる争いの経緯・経過や結果を明らかにする。

府内から伝播したキリスト教の別府のキリシタン塔の特徴と分布。

日田の広瀬淡窓や旭荘・帆足万里・毛利空桑などに学んだ幕末の文人庄屋たち。

庶民の生活・小事件、人物伝・エピソード。

小浦・小坂・亀川・南鉄輪村庄屋日記、島原藩高松役所・熊本藩高松役所・森藩・府内藩の記録、明礬関係文書、争論及び内済文書、小浦・小坂・亀川・野田・南鉄輪・中石垣・南石垣・浜脇・大分郡原村等の文書、鶴見七湯廻記・所用留・家宝珍事記などの古記録及び古文書を参照した。